

平成27年11月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成27年11月26日(木) 午前9時00分～午前9時55分
2. 会場 : 白杵市役所 白杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代
教育委員長職務代理者 野上 美智子
委員 渡辺 義弘
委員 神田 岳委
教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	文化・文化財課長	川野 義明
学校教育課長	小坂 一弘	社会教育振興官	白根 和孝
社会教育課長	矢野 晃	学校給食課長	斎藤 隆生
教育総務課総括課長代理	佐藤 忠久	文化・文化財課課長代理	日高 昌幸
学校教育課課長代理	斎藤 正雄	教育総務課副主幹	荻野 健

5. 傍聴人 白杵市 木下 裕章

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員 5名、欠席委員 0名で、出席委員が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。今回は1名の傍聴希望者がいます。白杵市の木下さんです。傍聴に関しては、白杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも委員長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、委員長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するというにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員長)

傍聴について許可してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(委員長)

それでは傍聴を希望する1名について傍聴を許可します。

(傍聴者1名入室)

(委員長)

これより白杵市教育委員会、平成27年11月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日限りと致します。会議録署名委員に、野上委員、渡辺委員の2名を指名いたします。

今回、次第3の協議事項のうち、「報告第7号 専決処分の承認を求めることについて」を非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は、挙手をお願いします。

(全員の挙手あり)

(委員長)

3分の2以上の挙手がありましたので、この件については公開しないこととします。

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

こんにちは。ずいぶん寒くなりました。本日は11月の行事報告の前に新聞にうれしい記事がありましたので報告いたします。豊洋中学校のレイス君の人権作文が、コンクールで優秀賞である大分地方法務局長賞に選ばれました。大分県からは教育長賞の作文と、レイス君の作文の2つが全国大会へ推薦されるとのことで大変嬉しく思っています。レイス君は8月の子ども市議会で公園に関する内容の質問をしてくれまして、私が回答しました。作文の内容もすばらしいのでお時間のある時にぜひご覧ください。

では11月行事報告を、お手元に配布しています行事表に沿って報告いたします。まず1日に臼杵市の総合防災訓練が福良ヶ丘小学校でありました。児童も参加して盛大に行われました。同日、おおいの教育の日が市民会館で行われました。「読書でつながる ひとづくり まちづくり」というテーマで小野正嗣さんに講演していただき、実践発表は「うすき読書のまちづくり」ということで、教育委員会の安東指導主事からこれまでの取り組み等を報告して、最後に実際石仏の写真を出しながら、うすきっ子ガイドの甲斐君がガイドをしてくれました。素晴らしいガイドで皆さんに大変喜んでいただき、誇らしく思いました。2日から学校訪問が始まりまして、これから12月中旬まで続きます。3日は垂井委員長にもご出席いただきましたが、文化の日の表彰式がありました。今年は地方自治功労で嶺さん、医療功労で佐藤さんの2名の表彰がありました。5日ですが歴史資料館の第2回運営委員会がありました。後ほど説明がありますが、平成28年度の展示計画について決定いたしました。6日に第2回目の市町村教育長会議が大分市で開催されました。県の長期教育計画、28年度の人事方針、フッ化物洗口などの事項について県から説明がありました。県の長期教育計画については、後ほど程説明があると思います。28年度の人事異動方針については、今年度と大きく変わる所はありませんでした。その日の午後、東中で研究発表会があり出席してきました。18日にも佐志生小と臼杵小で研究発表がありましたが、その中で感じたのは研究発表会で終わりではなくて、後に繋ぐとか広げていくということが大事だということです。とても良い研究ができていますので、それをどんどん広めて行っていただきたいと感じました。9日は定例校長会がありました。この日は特に子ども達の活躍について、先月の常陸太田市訪問、県民フォーラム、愛護少年団のつどいがあったり、先ほど述べた教育の日があったりしまして、そういったことで子ども達が頑張っているということを報告いたしました。11日ですが、国宝指定20周年記念「臼杵石仏絵画展」ということで、別府大学との連携協定の一環で「臼杵石仏100年のまなざし」と題して、まずは石仏を描いた絵を観光交流プラザで展示しました。これは19日まで開催され、293人の来場者がありました。この後14日「石仏をマンガで描く」という、別府大学の学生と西中の美術部の生徒が、石仏を題材にしてマンガで表現しようという事業があり、それができたら来年観光交流プラザで展示する計画もあります。また、来年度シンポジウムを開催する計画もしております。13日に臼杵津久見法人会から図書の贈呈がありました。これは毎年行われているもので税に関するマンガ本とノートをいただいております。16日は定例教頭会があり、人事評価について説明しました。教頭は直接評価する訳ではないのですが、評価は人を育てる意識を持って行ってもらいたいということをお話させていただきました。その日、県の工藤教育長が下藤のキリシタン墓地を見たいということで、落合次長と大城次長ほか担当課長といらっしゃいました。県知事とイギリスでラグビーワールドカップを見た帰りに、バチカンに寄ってマレガ文書等を見た関係で、実際関連する下藤の現地を見たいということで視察に来られました。そこで今度どのように取り組むかというようなお話をされていました。今は県の指定文化財になっていますが、今後国指定に向けてどうするか、あるいは一般公開に向けてどのような方法を探るかなど、様々な課題がありますので整理が必要かと思っております。

17日と19日に市職員採用試験の最終試験がありました。19日に試験委員会がありまして、今年は事務職で上級6名、初級3名、売り込み枠で2名、消防職の初級1名の計12名の採用となっています。20日はフジジンより寄付をいただきました。これは毎年チャリティショーでの益金を寄付していただいております、子ども達の図書費として活用させていただきます。21日と22日は中学校の文化祭がありました。23日は石仏の保存状況を一般公開し、その日に合わせて臼杵っこガイドをしていただき、かなり好評だったとの報告を受けました。24日ですが「教育県大分」に向けた意見交換会ということで「芯の通った学校組織」及び「県の長期教育計画」について、臼杵の取り組みの説明や、臼杵市から県への要望等について話をしました。長期教育計画につきましても、臼杵市から県に提出した意見等について話をさせていただきましたが、今回県の長期計画の中身を見ますと、学校教育の分野については厚くなっていると感じましたが、その他社会教育やスポーツ、文化財等については少し薄いように感じましたので、意見を言わせていただきました。25日に第2回の石仏保存修理委員会が開催され、昨年8月に被災した部分がやっと修理ができたこと、今年工事をするホキ2群の法面や古園石仏の覆屋にシャッターを付けることなどを説明し、工法や色などの検討もしました。本日は中学校の音楽祭、明日は小学校の音楽祭が市民会館で開催されます。もう一つ、明日は国体400Mハードルで優勝した兒玉彩希さんに、市長賞詞が贈呈されることとなっていますので出席いたします。

他の事項につきましては、お手元の11月行事報告表をご確認ください。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

無ければ以上で教育長報告を終わります。

8. 協議事項

(委員長)

それではこれより次第3の協議事項に移ります。

報告第7号については非公開となりますので、傍聴人の方は退場をお願いいたします。

(傍聴人退場)

(委員長)

ここで、傍聴人の再入場を認めます。

(傍聴人再入場)

(委員長)

続いて第46号議案の平成27年度補正予算(12月定例会市議会)についてご説明をお願いします。

(教育次長)

平成27年度予算を補正するにあたり、議会の議決を必要とするので、下記議案を提出することについて、臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第9号の規定に基づいて議決を求めるものです。

お手元の資料に沿って課ごとにご説明いたします。まず教育総務課からご説明します。歳入の1番、学校施設慣用改善交付金5,183千円増ですが、これは福良ヶ丘小学校防災倉庫の整備に係る交付金が決定しましたのでその増額です。補正後が160,229千円です。歳出ですが、1番のアスベスト調査委託料が2,733千円の減となっています。これは国が学校の中の見えない部分のアスベスト調査を今年度行うように市町村に示す予定だったのですが、その具体的な内容が示されずに、時期未定とな

りましたので減額をしました。2番の県公立学校施設整備期成会負担金12千円は、負担金の額確定による増額です。3番の卒業記念品38千円は、小学校の卒業生に渡す卒業記念品の英和辞典の単価が上がったことによる増額です。ちなみに中学校卒業生には昨年同様印鑑を送っております。4番の施設補修工事費1,179千円ですが、これは来年度野津小学校に入学する新一年生の人数が40人で、2クラスになるため、教室が不足しますので、現在のパソコン室を改修して普通教室にするためのものです。以上です。

(学校教育課長)

続けて学校教育課からご説明いたします。歳出の5番、修繕料103千円ですが、これはスクールバスの修繕料が不足したため増額計上するものです。6番の車借上げ料103千円ですが、これは予算組み替えということで、年度内の予算執行予定額による減額となっております。7番の非常勤賃金1,922千円ですが、今年度保健師1名の雇用を計画していましたが、雇用することができなかったため減額するものです。8番の臨時傭人料の3,364千円ですが、教育相談員1名と特別支援員2名の雇用を新たに行いましたので増額となりました。以上です。

(文化・文化財課長)

文化・文化財課よりご説明します。歳入の2番と3番につきましては、歳入側で説明させていただきます。歳出の9番から24番までが文化・文化財課の項目ですが、主なものだけ抜粋してご説明いたします。まず9番から11番は、文化財保護関係の予算となっております。この中の10番、施設解体工事費の378千円についてですが、これは古園石仏の法面で突風による倒木があり、突発的な事案ということでもあり、解体工事費でそれを処理するため増額となっております。13番の臨時傭人料33千円ですが、下藤のキリシタン墓地の埋戻し作業の追加に伴う増額です。15番から21番につきましては藩政史料調査事業ということで、国庫補助をもらって現在事業を継続しておりますが、これにつきましては予算の組み換えとなっております。主に消耗品や印刷製本等の事務費から委員報酬や謝礼金に組み替えておりますので、この事業自体の増減はありません。22番ですが、臼杵石仏法面の補修事業ということで3,334千円増額しています。これにつきましては、今年度建築単価の改定により、増額いたしました。これについては国庫補助で対応できるということですので、国庫支出金が1,667千円、地方債で1,600千円の財源を確保しています。歳入の2番と3番に提示しております。23番と24番が歴史資料館の予算となっております。これも組み換えで消耗品費が不足したため、100千円の増額を計上しております。以上です。

(社会教育課長)

社会教育課の予算についてご説明します。まず24番です。会場借上げ料の22千円ですが、成人式について、今年度より実行委員会形式で行うようになったので、成人式の企画運営を実行委員会にやってもらうことになりました。その中のアトラクションで、映像を流すプロジェクターやスクリーンの借上げが必要となったため、その経費を計上しています。26番の印刷製本費378千円については、今年度作成する「うすき読書のまちづくりプラン」の冊子作成費用として増額計上しています。27番の光熱水費の59千円ですが、今年の4月に図書館がリニューアルオープンしまして、これまで冷暖房はボイラーでやっていたものを電気に変えました。当初予算の時に正確な金額がわからなかったために、今回不足が生じたので計上しています。28番の運搬委託料496千円は、こども図書館の文庫改修工事が2月に完了するのですが、その後に書籍等の搬入業務が必要になりますので、増額計上しています。29番の光熱水費80千円ですが、今年度から宮本地域体育館を地域の方がバドミントンなどで利用するようになりまして、これまでは基本料金だけで済んでいたのですが、それでは足りなくなってしまうため計上しております。30番の下水道使用料282千円ですが、臼杵市中央公民館のトイレが老朽化しておりまして、水が電気制御できなくなったため水道代が上がってしまい、それに伴って下水道使用料も増えたため計上しています。以上です。

(学校給食課)

歳出の31番から説明いたします。31番の非常勤賃金1,600千円の減額ですが、臼杵給食センターで調理業務を行っていた非常勤職員1名が、5月末で退職したため不用額が出たものです。これに関連しまして、32番の臨時傭人料を817千円増額しております。非常勤職員が退職したため、下処理補助などを行うパート職員を雇用しましたので、増額となっています。34番の器具費845千円ですが、これも臼杵学校給食センター分です。臨時職員等の増員がありましたので、ロッカーの増設をしたことと、検食用の冷蔵庫の老朽化に伴い、更新を行いましたので増額としています。以上です。

(教育次長)

予算説明資料の一番下にある債務負担行為についてご説明いたします。教育委員会センターサーバー更新とありますが、これは校務用のパソコンサーバーの更新です。期間が28年度、金額は25,598千円とありますが、実際は28年度になったらすぐに履行しなければならないため、事前の27年度中に契約手続きを行うということで、債務負担行為をお願いしているものです。

(学校教育課長)

学校教育課は3点あります。まずはICT機器購入ということで7,681千円計上しております。28年度の4月当初からICT機器を購入するためです。佐志生小と下ノ江小等に導入します。次に平成28年度中学校用指導書購入事業の10,900千円ですが、中学校の教科書が来年度から変わりますので、それに伴って指導書も変わるためです。それに関連しますが、平成28年度中学校用教師用教科書購入事業635千円も計上しております。以上3項目について債務負担行為をお願いしております。

(社会教育課長)

臼杵市中央公民館大規模改修事業についてですが、これは建築基準法が変わりまして、公民館の天井がすり天井になっているので改修する必要があるのと、以前から要望のありました、トイレの改修を来年度行います。期間につきましては6月から8月を予定しており、公民館が一番利用されない時期に工事を行うのですが、その事前準備等が必要なため、3月中に契約を行っておかなければならないことが判明しましたので、今回債務負担行為を上げております。

(委員長)

第46号議案のご説明が終わりました。補正予算等についてということですが、皆さんご意見がありましたら発言をお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第46号議案については、承認するということよろしいですか。

(異議なしの声あり)

9. 学力向上について

(委員長)

それでは次第4の学力向上について学校教育課長からご説明をお願いします。

(学校教育課長)

先ほど教育長報告の中でもありましたように、昨日県教委の方が臼杵市に来まして、意見交換会がありましたのでその報告を兼ねて行います。「芯の通った学校組織」の取組の現状と課題という資料をご覧ください。大きく分けて3つあります。まずは「学力向上」について、「その他教育課題」として体力向上や学校・家庭・地域の協働など、最後に「組織力」という3点です。これらについて臼杵市の学

校の現状と課題、課題解決のための市町村教委の取り組み、県教委への要望となっています。臼杵市の現状と臼杵市が取り組んでいる教育行政について、私から4点に絞って説明させていただきました。

まず1点目ですが、組織力の所の一番右側のところに「【芯の通った学校組織】の深化・発展」とあります。小学校と中学校それぞれが芯の通った学校組織ということをやっているのですが、臼杵市では今行っている小中一体教育の実施によって、小学校と中学校で芯を通して目標を定めてやっているという話をしました。その中で県教委の方に小中一体教育を進めるにあたっての要望事項ということで、小学校と中学校の先生の人事交流を進めていただきたいという要望をしております。2点目に、学力向上についてのところですが、臼杵市の学力の課題は中学校の授業力の向上だということがはっきりしておりますので、上の段右の「臼杵市中学校授業力向上プロジェクト2015」について説明させていただいております。この項目の県教委への要望は、今ICT機器を導入していますが、インターネット回線の速度が充分であるのかということです。タブレットを使って動画を見る際に、複数のタブレットで同時動画再生を行うと、速度が遅くなったり、止まってしまったりというような現象があるため、将来一人一台となったときに対応できるようにしていただきたいということです。3点目ですが、その他の教育課題の真ん中の欄「(4) 栄養教諭2名活用した食育の推進」について説明させていただきました。今年度、市浜小学校に栄養教諭の山本先生を加配として付けていただいて、臼杵地区・野津地区各1名の体制となっております。それに基づいて、臼杵地区で1学期の間に7校27回、野津地区は3校で15回、栄養教諭による食育の授業を行ってきました。2学期は現在までですが、山本教諭が9回、板井教諭が12回授業を行っております。資料3には体育専科教員と栄養教諭と学級担任のコラボで授業を行った様子が、新聞等で見た方もいらっしゃると思いますが、食事の面から、運動の面から、休養の面からの3点で、子ども達にこれからが一番大事な時だから自分たちの体を育てるために必要だということ、授業していただきました。4点目が地域との協働ということで、一番右の欄に「うすき土曜ふれあい学校の実施」とあります。臼杵市では他市に先駆けて、昨年度から土曜ふれあい学校を実施していますが、その目的や内容、実績について説明をさせていただきました。ここで県教委へ要望したことは、現在スクールカウンセラーを配置していただいておりますが、それがもう少し充実させることができないかということです。現在小学校2校、中学校4校の配置になっておりますが、増員をしてほしいということと、もし配置していただけるならば、小中の同じ校区で同じカウンセラーにしてもらえると小学校から中学校へ進学しても同じ方に見てもらえることができ、子ども達も安心だと考えますので、それをお願いしました。

以上のような願いを一生懸命したつもりなのですが、県教委の反応はどうかという感じでした。

「色々やっていますね」とは言われましたが。私ももう少し言うておこうかと思い、「県民フォーラム」や「おおいた教育の日」について臼杵市として協力したのですが、どのような総括をしていますか、指導してくださいと言いましたら、「子ども達の発表が大変良かった」ということだけでした。以上です。

(委員長)

説明が終わりました。「芯の通った学校組織の取組の現状と課題」ということですが、質疑等がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

もし今度機会があれば言っていたきたいのですが、不登校防止対策教員が一人配置されていますよね。しかし学校の授業を兼ねた配置になっているので、配置された学校ではその教科の人員が結果的に少なくなってしまうような現状になっていると聞いています。それで防止対策教員の配置であれば、その教科の先生にカウントせずに配置していただければ自由に動けるようになるし、学校としても教科の配置が上手くいくのではないかと思います。それを要望してほしいと思います。

(学校教育課長)

その人員配置につきましては、こちらのやり方もあると思うのですが、実際のところ校長からもそのような話を聞いています。市教委にできることは何かと考えたときに、今理科の教員が足りないという

ことで、理科の学習サポーターを雇用して実験の準備や片付け、採点の手伝いなどをさせていただいています。少しは緩和できているのではないかと思います。基本的な人事配置についてはこちらも気を付けてやっていきたいと考えています。

先ほど言い忘れたのですが、不登校防止対策教員についても県教委へお願いをしました。外に出る機会が多くて、計画的にまわっている時には市の公用車を貸し出すなど出来るのですが、どうしても不登校対応は臨時での対応もあって公用車で行くことが出来ないこともあります。その場合の旅費は、在籍している学校の負担になってしまうので、今は相手先の校長から出張依頼を出してもらって、それに基づいて負担してもらっています。自由に動けるような環境にないと、不登校対応は充分にできないと考えますので、県にも旅費についてお願いしました。

(委員長)

他に何かご意見等ありませんか。

(無しの声あり)

10. 教育予算について

(委員長)

次に次第5の教育予算等についてですが、ご意見がありましたらお願いします。

(野上委員)

新聞に載っていたのですが、消防設備に不備があったというのはどういう対応をされたのですか。

(教育次長)

消防設備については以前の会計検査で指摘されたものを、予算や事務処理の関係でそのままにしておりまして、申し訳ありませんでした。臼杵市教委につきましては、指摘事項について昨年度全て改善をしていますので、現在問題ありません。今後については、老朽化等での不具合が出たりすることもあるかと思いますが、その時点で速やかに対応し改善していきます。

(野上委員)

書類が遅れていただけなんですか。福良ヶ丘小学校が出ていたので、新しいのになと思いました。

(教育次長)

それは建替え前の福良小の設備についての指摘です。

(野上委員)

そうだったんですか。

(教育長)

過去の会計検査で指摘されていたんですが、新聞記事にもあったように予算的に対応できていなかったんですね。その後再度調査があって、臼杵市も一昨年と昨年の2カ年をかけて整備しました。子どもの命に関わることなので、対応を早くしないとイケません。新聞では県下の状況が出ていて、対応できていない市町村もあったようですが、臼杵市は終わっています。私も突然の調査で驚きました。

(委員長)

他に何かありませんか。

(野上委員)

スクールソーシャルワーカーについて、市町村の手挙げで国が事業を起こしていくということがあるようなんですけど、新聞には増やしていくと書いてありましたが、それについて少し情報を得ておいた方が良いと思います。

(学校教育課長)

スクールソーシャルワーカーについては、市議会等でも質問がありまして、実際の所県下で手挙げしているところもあります。実情等を聞いてみると、退職校長等をスクールソーシャルワーカーとして雇って、不登校対応を行っているということでした。臼杵市も充分とは言えないかもしれませんが、きずなや不登校防止対策教員や市教委や福祉課で連携しながら対応していると認識しています。今後はそのようなところについても、子ども達のために研究していかなければならないと考えています。

(野上委員)

ではスクールソーシャルワーカーを雇用するという事で、今年度や来年度等に事業費を取ってきているという訳ではないんですか。

(学校教育課長)

今の所はありません。

(野上委員)

わかりました。

(委員長)

昨日人権同和の会議があったのですが、ある学校の校長が特別支援を要する子どもがとても増えたという話をしていました。それで早めに来年度予算において、支援に関するものを盛り込んでいただくよう連携を取って、人員を増やしてもらうなどの手を打った方が良いのではないかと思いますので、ぜひ考えていただきたいと言われました。

(学校教育課長)

具体的に何かおっしゃっていましたか。

(委員長)

最近どんどん人数が増えていっているんで、新年度もかなり多くなるのではないかと心配していました。年度途中からではなくて、4月当初から人員を配置しておいてほしい、準備できていないという状況がないようにしてほしいということでした。

(教育長)

支援を必要とする子どもの対応についてはかなり必要だと感じていましたので、就任した最初の年に支援員を増やしたり、去年も相談員を置いて対応したりしてきました。来年度は視点を変える必要があると思っています。まずは先生達にそのような支援を必要とする子ども達のことを理解してもらうことと、保護者もそこを理解してもらわないといけないということです。その辺の対応を考えていきたいと思っています。どういう方法があるかは検討しないといけないのですが、そうしないと本当の解決にはならないと思うし、先ほど野上委員が言われていたように、スクールソーシャルワーカーについても勉強して、どういった対応が出来るかを考えて行かないと大きな問題になると思っています。

(野上委員)

津久見市や大分市で上映されたようですが「みんなの学校」という映画が良かったようです。内容は

子ども達が支援の必要な子ども達とどう向き合っていくか、先生達がどれだけ頑張っているか、保護者のお話もあつたりしているので、そういうのを何かの機会に上映できると良いかなと思います。

(委員長)

まさに保護者の理解を得るといのは大事ですね。ぜひ特別支援に対する対応を早め早めにしていただくよう検討してください。

11. その他について

(委員長)

次第6のその他については何かありませんか。

(無しの声)

(委員長)

無ければ以上で平成27年11月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
